

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.173)

## 1. PCB処理安全監視委員会について

8月31日(金)に、平成30年度第1回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会では、JESCOからは豊田PCB廃棄物処理施設の操業や運転廃棄物の状況等を報告し、PCB廃棄物処理が順調に進んでいることをご確認いただきました。

また、7月に使用済布ウエス用保管容器から白煙が発生した事例について報告しました。当日の豊田消防による現地調査では火災ではないとのご判断をいただいたこと、事業所として発煙した原因を調査しましたが原因を確定するに至らなかったことをご説明するとともに、改善対策として、使用済布ウエスの保管容器内での保管期間を短くすること、保管容器の数を減らすこと、保管容器の設置場所を目の届きやすいところに移動すること、保管容器の構造を改善することを報告しました。

委員の方からは、原因の特定に向けてさらなる調査をすすめるようご意見がありました。

豊田市からは、豊田PCB廃棄物処理事業所への立入検査の状況、トラブル発生時の報告公表基準の改訂等について説明がありました。

JESCOの処理エリアである愛知県、岐阜県、三重県、静岡県及び7政令市からは、PCB廃棄物保管事業者の掘り起こし調査の結果等についての説明があり、委員の方からは、掘り起こし計画の前倒しと進捗管理をしっかりとるようご意見がありました。



環境省からは、PCB廃棄物の早期処理促進に向けた国の取組として、名古屋にある地方環境事務所の体制強化、PCB廃棄物保管事業者の掘り起こし調査の支援、中小企業者等の負担軽減措置等について説明がありました。

## 2. 総合防災訓練の実施



豊田PCB処理事業所では、24時間4班3交代の勤務体制をとっているため、各班が一回ずつ訓練ができるよう、防災訓練を4回実施しました。この訓練では、深夜の火災発生を想定し、少人数の夜勤者による初期消火活動の役割を確認しました。併せて、夜間の事故発生時における消防本部や豊田市への緊急通報の手順を確認しました。

また、8月20日(月)には、上記の防災訓練に加え、JESCOと運転会社の合同による避難訓練と、消火器と消火栓による消火訓練を実施しました。終了後には、立会をいただいた豊田市消防本部予防課から、それぞれの訓練についての講評をいただきました。

## 3. 名古屋大学情報文化学部の方々の見学

8月30日(木)に、名古屋大学情報文化学部の皆さんが、学外見学授業『環境フィールドセミナー1』の一環として、当事業所を見学されました。

学生の方からは、PCBと言うものがあるというところから初めて知りましたが、安全第一に処理されているのに驚いた。産廃施設なので、かなりハードな使い方がされていると思っていたが、施設がキレイで良かった。また、もっと一般に広報をしたら良いのではないかな等の感想をいただきました。

また、当日は午前中に豊田市渡刈クリーンセンターを、当事業所の後に豊田エコフルタウンを見学されたそうです。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

